



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



2016九州うたごえ祭典 in 北九州 第1回実行委員会開催

11月15日(日) 13:30~16:00 「2016九州うたごえ祭典 in 北九州」第1回実行委員会を戸畑生涯センターで開催し、祭典の概要を討議し、三輪俊和氏(北九州市立大学名誉教授)を実行委員長に選出し、実行委員会・事務局体制を決定しました。



祭典日程は、以下の通りです。

2016年10月8日(土) 合唱発表会ウエルとばた
2016年10月8日(日) うたごえ祭典ソレイユホール

日本のうたごえ祭典は、以下の通り開催。

2016年11月11日(金)~13日(日) 愛媛

毎月19日、戦争法廃止を訴えています!

11月19日、戦争法強行採決の9月19日を抗議して、10月に続いて、今日も多数が小倉駅に集まり、戦争法廃止を求める署名活動やリレートーク・コールをして、訴えました。毎月19日に戦争法廃止をもとめて小倉駅デッキに集まりましょう。



戦争法を廃止にする北九州での市民運動の推進母体をつくるために、「平和をあきらめない北九州ネット」発足集会があります。みんなでこぞって参加しましょう。

(12月14日(月) 18:30~北九州弁護士会館5F)

福岡県革新懇地域交流会が 開催されました

11月21日(土)に、福岡県革新懇主催の地域・職場・青年革新懇交流会が開催されました。

全国交流会に参加した三輪俊和代表世話人から、交流会の特徴、北九州革新懇の新しい運動などについてパワーポイントも使って詳しい報告・問題提起がありました。三輪氏は、全国交流会全体に感動したが、「問題提起と報告」で述べられた「革新懇は政治を変える政府をめざしてきたがその一歩を踏み出す歴史的瞬間にある」に特に感動したことを述べるとともに、情勢の発展にふさわしい新しい革新懇運動が要請されていることを強調しました。

続いて、田村貴昭衆院議員が、「戦争法廃止の国民連合政府」の提案について、シールズやママの会などの具体的なたたかいを含め、今のたたかいの新しい特徴や国会論戦のリアルな特徴、戦争法廃止を求める2000万統一署名の意義なども交えて、わかりやすく報告。

2人の報告・問題提起を受けて、8つの地域革新懇から9名が意見発表し、交流しました。各地域革新懇の多彩な活動を交流すると同時に、2000万署名を成功させるために、自分の地域ではどれだけ集めなければならないかをはっきりさせて、挑戦が始まっていることも交流しました。(安広和雄さんのFBから転載)



「さよなら原発!北九州集会」 第1回実行委員会開かれる

11月26日、「さよなら原発!北九州集会」第1回実行委員会で、「さよなら原発!3.13北九州集会」の要項が決まりました。

集会開催日等は以下の通りです。

3月13日(日) 勝山公園(図書館隣接)
集会規模は、3000人を目標とします。
第1部 ライブステージ(11:30~12:50)
第2部 本集会(13:00~14:30)

事務局体制が強化され、実務の詰めは事務局会議で行い、実行委員会は4回程度の開催。



志位和夫委員長の街頭演説会 1800人集まる!

志位和夫委員長が来る!11月28日(土)14:00~小倉コレット前は、寒さを吹き飛ばす熱気と人盛り。素敵に輝く、しばた雅子さん(参院福岡選挙区予定候補)がさっそうと登壇。31歳の若さと活力に感激しました。そして、いせだ良子さん(参院比例代表予定候補、41歳、2児のママ)も頼もしい!

最後に、志位さん。「戦争法案」反対、国民連合政府構想について熱弁。ひとりひとりが輝く社会をつくろう。国民連合政府の実現と日本共産党の躍進で。胸の高鳴りを抑えきれなかった。(三輪俊和)



「さよなら原発3・13北九州集会」 第2回実行委員会

12月11日(金)、さよなら原発北九州連絡会の金曜行動は、第173回目を実施した。

その後、19:20から「さよなら原発! 3.13北九州集会」の第2回実行委員会を開いた。賛同署名に取り組んでいくことを決めた。第3回実行委員会は、1月22日(金)に金曜行動の後、19:20より生涯学習総合センターの情報学習室で開催される。



～16:30)では、神陽子氏(九州国際大学准教授)が「立憲主義から安全保障法を考える」というテーマで熱弁を奮った。大変良かったという感想が寄せられた。講演内容は、憲法ネットHPに公開される。



「平和をあきらめない北九州ネット」が 結成されました

12月14日(月)、18:30～、「平和をあきらめない北九州ネット」結成総会が開催され、活動目的と申し合わせ事項を全員の拍手で採択しました。

代表に服部弘昭弁護士、副代表に前田憲徳弁護士を選出。幹事会と事務局会議の組織構成を承認した。

当面の活動方針は、以下の通り。

- ① 19日定例街宣
- ② 5月3日憲法記念日での統一集会
- ③ 2000万署名や違憲訴訟に協力していくことを承認した。

9条の会・北九州憲法ネット 第12回総会・記念講演会開催

12月12日(土)14:00～14:30 第12回総会で、行動提案と役員人事・会計報告がなされ全て承認された。記念講演(14:30

第3回 市民講座 公共施設マネジメント

昨年12月10日(火)に開催された公共施設マネジメント(第3回市民講座)には、多くの批判と切実な市民要求が寄せられました。講演内容は、市民の会HPにて公開中です。

<質疑応答概要>

質問①: 学校施設の統合による規模の適正化は、現在の35人学級で考えているのか。

回答: 35人学級で考えている。

質問②: 体育館やプールを、学校の施設利用に変えていくというが、大人と子供が使うのは使い方が違う。学校の子どもの安全性は考慮されているのか。

回答: 施設利用は、利用者に節度をわきまえてもらう必要がある。安全確保は必要と考えている。

質問③: 自然の家など、地域で特性がある。

回答: 施設の状況は考慮していく。

質問④: 財政面のみで進め、市民サービスを無視している。キャンプ場などの抽選施設は、何回応募してもなかなか当選しない。

回答: 効率よく施設を使いあう必要がある。

質問⑤: 学校のプールは制約があって使いにくい。利用者の立場で、施設の存続の検討を。

回答: 近い施設で振り分けが可能か検討する。

質問⑥: 地域交流センターが計画に含まれていないようだがどうしてか。

回答: すべての施設が対象となっている。

質問⑦: 土日に利用が集中する施設があるが、月曜から日曜までで利用率を算出していないか。

回答: 集中している曜日は、考慮していない。月曜から日曜までで利用率を算出している。日曜に開館していない施設は、日曜開館を考えている。

質問⑧: 八幡図書館の改修費は約2億円なのに、移転費用は改修費込みで約5億円かかる。

回答: 費用だけで、一概に比べられない。価値は理解するが、八幡病院の建て替えは必要だった。

質問⑨: 財政と効率と言っているが、公共施設はそれで整理できない。歴史的観点の導入を。

回答: 歴史的価値は勘案している。

質問⑩: 採算が取れない公共施設が、財政難の原因ではないのか。

回答: 活用できる活路はある。

質問⑪: 障害者、高齢者でも使いやすい施設が欲しい。今進めている箱物(複合施設)は使いにくい。

回答: 大型施設が使いにくいと言う事もあるかもしれないが、バリアフリーにするなど、使いやすくしていく。

<参加者感想>

◎市の説明を聞いてびっくり! 今まで使っている施設を古いからと言って排除しようというのは、市民生活に大きな支障が出ると思います。今でも北九州市の人口は減っています。このうえ使い勝手の悪い市にするなら住みにくい市になり、さらに人口は減り税収も減ってしまいます。

私は市営住宅に住んでいますが、築70年は経っていて中身はボロボロです。市民生活は大変な状態です。収入は減り、年金は下がって、できたら市営住宅に住みたいと思っている人はたくさんいます。もっと新しい市営住宅を建ててほしい位です。空き家対策をもっと推進してほしいです。

市民センターは日曜に利用できると、もっと利用がふえます。市民のための運営計画にしてほしいです。お金の使い方を市民のために使ってほしいです。

◎門司区Hさん

1、公共施設マネジメントでは、財政・効率だけでなく、歴史・文化や施設の価値についても充分検討を加えたと市は説明していますが、市の実行計画(素案)の中の説明文や図表には一切載っていません。公に説明(具体的に)してほしい。

2、市民のアンケート調査結果、8割近くが賛成ということですが、アンケートの具体的な説明がほとんどない、これで賛否が決められるのか疑問です。全公共施設一つづつ、どのような項目でチェックしたのか各項目ごと、具体的評価結果を公表すべきです。そして、その評価にどのように対応するかを示すべきです。

3、市民の意見が寄せられたのか公表すべきです。

◎北九州市発足以来、市民の健康・教育・文化など縮減されてきました。何を言っても行政には届かないと諦めのような市民感情があるのは否めません。

公共施設マネジメントは、市民の顔・呼吸の音がどこにも感じられません。少子高齢化というばかりで、学校の統廃合、市政住宅の削減など、若い世代・子どもはそのまま減っていくことを放置するのでしょうか。

◎出前講演に参加する前に思っていたより大変なことになっていくのだという事を知りました。これを皆さんに知らせて考えていかなければならないと思いました。